新熊谷学校給食センター整備事業

審査講評

令和７年 10 月１日

新熊谷学校給食センター整備事業審査会

新熊谷学校給食センター整備事業審査会（以下「審査会」という。）は、新熊谷学校給食センター整備事業（以下「本事業」という。）に関して、審査基準書に基づき提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和７年 10 月１日

新熊谷学校給食センター整備事業審査会
会長　植田　和男

目　　次

Ⅰ　審査会 1
　1　委員の氏名及び所属 1
　2　開催日及び議題 1
Ⅱ　審査結果 2
　1　参加資格審査 2
　2　提案審査 2
Ⅲ　審査講評 7
　1　各審査項目についての講評 7
　2　総評 11

Ⅰ　審査会

１　委員の氏名及び所属

審査会の構成は、以下に示すとおりです。

表１　審査会委員

	氏 名	所　属
会長	植田　和男	特定非営利活動法人日本 PFI・PPP 協会会長兼理事長
副会長	堀端　薫	女子栄養大学　栄養学部　准教授
委員	林　立也	千葉大学　大学院工学研究院　准教授
委員	令和７年３月まで 山下　克巳 令和７年４月から 新井　賢一	熊谷市　建設部長
委員	三友　孝二	熊谷市　教育次長

２　開催日及び議題

審査会の開催日及び議題は以下のとおりでした。

表２　審査会開催日及び議題

回	開催日	主な議題
第１回	令和６年 11 月 12 日	・事業概要について ・事業者選定方式について ・実施方針について ・要求水準書（案）について ・審査基準書（案）について ・事業契約書（案）及び基本協定書（案）について
第２回	令和７年２月 18 日	・実施方針等に関する質疑回答及び実施方針の変更について ・特定事業の選定・公表について ・審査基準書について ・審査方法について ・各公募資料について
第３回	令和７年８月７日	・参加資格審査結果について ・基礎審査結果について ・審査方法について ・事業者提案について
第４回	令和７年８月 27 日	・提案内容に対する質疑回答について ・仮評価結果の確認、意見交換について ・事業者のプレゼンテーション及びヒアリングの実施 ・最終審査の実施 ・審査講評（案）について

Ⅱ　審査結果

１　参加資格審査

参加資格審査書類について３グループから提出があり、審査会での審査の結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認しました。

なお、参加企業の知名度や属性等により恣意的な評価となることを防ぐため、構成する企業の名前を伏せて「さくらグループ」「ふじグループ」「あじさいグループ」という匿名のグループ名を付して審査を行いました。

２　提案審査

(1)　提案書類及び提案価格の確認

参加資格を有する３グループから提出された提案価格書及び提案書類について、各グループが募集要項等の指定どおりにすべて揃っていること、更に提案価格が市の支払総額の上限価格を超えていないことを確認しました。

(2)　基礎審査

基礎審査の対象となった３グループの提案内容について、表３に掲げる基礎審査の審査基準をすべて満たしていることを確認しました。

表３　基礎審査の審査基準

審査項目		審査基準
事業計画	事業工程	・実現可能な事業工程となっているとともに、事業条件が満たされていること
	提案価格	・算定方法に誤りがないこと
	特別目的会社	・特別目的会社の基本的な属性について、要求水準書等に定める条件を満たした設立等が明示されていること ・出資内容が明記され、出資条件が満たされていること
	市の支払条件	・施設整備に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること ・維持管理及び運営業務に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること
	事業実施体制	・事業実施体制が明示されていること ・各業務を実施する構成員及び協力企業とその役割が明確に示されていること
	リスク管理の考え方	・リスクの分担者、分担方法、分担者のリスク管理能力が明示されていること
	資金調達計画	・資金調達方法、金額、条件などが明示されていること ・資金調達に係る利息の計算に誤り等がないこと
	長期収支計画	・長期収支計画全体の計算に誤り等がないこと ・各種発生費用の項目及び算定方法に誤りがなく、市場価格と極端に乖離していないこと ・事業期間を通じて特別目的会社に資金不足が生じないこと

施設整備計画	施設整備計画	・事業計画地の範囲内に配置されており、法令に適合した計画であること ・施設の規模について、要求水準が満たされていること ・各室が要求水準を反映した基本的性能を備えたものであること
	調理設備機器整備計画	・調理設備機器の仕様について、要求水準を満たしていること ・施設整備計画（給食エリアのゾーニング等）と適合した配置であること
	施工計画	・解体工事等業務も含め、適切な施工計画が策定されていること
維持管理計画	維持管理計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること
運営計画	運営計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること

(3) 性能審査

① 評価方法

審査会は、審査基準書に基づき、審査項目ごとに表４に示す基準により５段階で評価し、それに応じて計算される得点（加点）を付与しました。

表４　性能審査加点項目の評価基準

評価	評価指標	加算割合
A	当該評価項目において非常に優れている	配点×1.0
B	当該評価項目において優れている	配点×0.8
C	当該評価項目において具体的かつ適切な提案がなされている	配点×0.6
D	当該評価項目において適切な提案が少ない	配点×0.4
E	当該評価項目において懸念される点がある又は提案がない	配点×0.2

② 評価結果

性能審査加点項目の評価結果は、表５に示すとおりです。

表５　評価結果

加点項目	配点	さくら グループ	ふじ グループ	あじさい グループ
事業計画				
事業の安定性	80	52.4	47.0	57.6
リスク管理の考え方	30	20.4	13.2	22.8
地域社会、地域経済への貢献	30	20.4	14.4	22.8
事業計画 小計	140	93.2	74.6	103.2
施設整備				
安全性・防災性	30	14.4	21.6	22.8
機能性	150	115.2	82.0	111.6
経済性	30	21.6	20.4	21.6
環境性	20	14.4	12.0	15.2
体制・施工計画	60	33.6	36.0	39.2
施設整備 小計	290	199.2	172.0	210.4
開業準備業務				
開業準備計画	20	12.8	12.0	14.4
開業準備業務 小計	20	12.8	12.0	14.4
維持管理業務				
維持管理	40	25.6	25.6	25.6
長期修繕計画策定	20	13.6	12.0	11.2
維持管理業務 小計	60	39.2	37.6	36.8
運営業務				
運営体制	30	19.2	13.2	16.8
調理業務	140	93.2	88.8	94.8
配送業務	30	21.6	14.4	20.4
その他関連業務	30	21.6	21.6	21.6
業務従事者の人材育成	30	21.6	19.2	19.2
運営業務 小計	260	177.2	157.2	172.8
その他				
災害時の機能維持等	30	14.4	20.4	24.0
その他 小計	30	14.4	20.4	24.0
合　計	800	536	474	562

※表示上の点数は平均値を用いており、集計値と正規計算値が一致しない場合があります。
※合計点は小数点第一位以下を四捨五入しています。

(4) 価格審査

① 価格評価点の算定方法

以下の式により算定して得られた値を価格評価点とします。価格評価点の計算にあたっては、小数点第１位以下を四捨五入します。

価格評価点 ＝ 200 点 ×（提案限度額－提案価格）／（提案限度額－価格評価基準額）

提案限度額：17,315,343 千円（税抜）

価格評価基準額：提案限度額の 80%

② 算定結果

価格評価点の算定結果は表６に示すとおりです。

表６　価格評価点の算定結果

	さくらグループ	ふじグループ	あじさいグループ
提案価格（税抜）	17,253,292,236 円	15,848,633,511 円	16,584,115,451 円
価格評価点	4 点	85 点	42 点

(5) 最優秀提案の選定

① 最優秀提案の選定方法

性能評価点と価格評価点を合計して表７のとおり総合評価点を算出しました。

表７　総合評価結果

評価項目	配点	さくらグループ	ふじグループ	あじさいグループ
性能評価点	800	536 点	474 点	562 点
価格評価点	200	4 点	85 点	42 点
合計（総合評価点）	**1,000**	**540 点**	**559 点**	**604 点**

② 選定結果

以上により、総合評価点が最も高いあじさいグループを最優秀提案者として選定しました。

あじさいグループの構成員及び役割を表８に示します。

表８　最優秀提案者

グループ名	代表企業	構成員	役　割
あじさいグループ	株式会社東洋食品	株式会社楠山設計	設計業務 工事監理業務
		東亜建設工業株式会社　北関東営業所	解体工事等業務 建設業務
		大和建設株式会社	解体工事等業務 建設業務
		タニコー株式会社　熊谷営業所	調理設備調達業務 調理備品調達業務
		株式会社アイホー　埼玉営業所	調理設備調達業務（炊飯機器） 調理設備保守管理・修繕業務（炊飯機器）
		株式会社東洋食品	運営業務 プロジェクトマネジメント業務
		株式会社オーエンス　さいたま支店	維持管理業務
		NEC キャピタルソリューション株式会社関東支店	ファイナンシャルアドバイザリー（FA）業務 SPC 管理業務

Ⅲ　審査講評

１　各審査項目についての講評

【事業計画】

審査項目	講　評
事業の安定性	・あじさいグループについては、事業継続の点で、第三者のチェックを含む財務モニタリングを実施することが、具体の方法と合わせて提案されていたため、高く評価した。 ・さくらグループの資金計画については、全体的に整った提案であったが、初期費用に係る資金調達の面で不確実性が懸念される提案であった。 ・ふじグループについては、特筆すべき優れた提案はなかった。
リスク管理の考え方	・さくらグループとあじさいグループについては、不測の事態による費用増加への対応策などが具体的に提案されていた。 ・あじさいグループは、過去の業務実績を踏まえた多数のリスク項目の抽出や、専門企業による詳細なリスク評価を踏まえた提案がなされており、高く評価された。 ・ふじグループについては、特筆すべき優れた提案はなかった。
地域社会、地域経済への貢献	・さくらグループとあじさいグループからは、地元企業の活用及び地元への経済的な波及効果が定量的に提案された。特にあじさいグループの提案は、地域経済への貢献規模、及び地域社会への貢献に係る提案の具体性において優れていた。 ・ふじグループについては、特筆すべき優れた提案はなかった。

【施設整備】

審査項目	講　評
安全性・防災性	・さくらグループについては、敷地造成高に関して、今後の設計において、各所に影響を及ぼすことなく、適切に反映できるか懸念があると評価された。 ・さくらグループとあじさいグループは、建物基礎設計などにおいて、全体的にリスクを踏まえ不確実な部分には適切に余裕を見込んだ計画であったことが評価された。 ・ふじグループについては、BIMデータを活用する災害時避難対策などが評価された。 ・あじさいグループについては、構造計画に関して、要求水準を上回る耐震性能レベルやより高い水準の建材強度の採用など、具体的な提案を高く評価した。

機能性	・さくらグループとあじさいグループについては、給食センター敷地への出入口を分けており、物理的に動線交錯を防げるという点で高く評価した。 ・さくらグループとあじさいグループについては、給食エリアの動線が直線型であり、給食エリアの床面積が小さくないことが高く評価された。 ・さくらグループの見学施設を１階に設ける計画については、煮炊き調理室の一部しか見学できず、見学スペースが分散、また見学者が作業中のアレルギー専用食調理員の目線に入り調理業務に影響を及ぼすおそれがあるという評価と、調理員とより近い位置で見学できるという評価の賛否両論があった。 ・さくらグループについては、高性能の焼き物・蒸し物調理設備が導入されている点が高く評価された。
経済性	・各事業者とも LCC の低減について要求水準を超える提案があったが、特筆すべき提案はなかった。
環境性	・各事業者とも地球環境への配慮、エネルギー削減、水資源対策について、それぞれ複数の提案があった。 ・さくらグループ及びあじさいグループについては、周辺環境への配慮に関して具体的かつ詳細な提案が優れていると評価された。 ・あじさいグループについては、建物高さを 10m未満に抑えており、中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整に関する熊谷市条例を踏まえ、プロジェクトのリスク回避の観点から優れていると評価された。 ・あじさいグループについては、「太陽光発電設備の第 3 者所有モデル」(PPA モデル)を利用する提案を評価する意見があった。一方、当該提案は、事業計画の成立が不確実であること、及び蓄電池設置計画がないことを踏まえ、慎重に評価する意見があった。
体制・施工計画	・さくらグループについては、敷地造成に係る施工計画、施工スケジュールに懸念があると評価された。 ・ふじグループについては、BIM を活用したモニタリングに係る提案を評価する意見があった。 ・あじさいグループについては、設計・施工段階のモニタリング内容、及び施工計画に関する具体的かつ詳細な提案が評価された。

【開業準備】

審査項目	講　評
開業準備計画	・すべての応募者から、事業契約締結後速やかに開業準備のためのチームを組成し活動を始める提案がなされていた。 ・さくらグループとあじさいグループについては、開業準備の詳細なスケジュールの提案があり、評価された。 ・あじさいグループについては、開業準備期間開始前からの研修実施が計画されており、事業開始当初からの体制構築や経験豊富な人員配置に資する具体的かつ効果的な提案を評価した。

【維持管理】

審査項目	講　評
維持管理	・ふじグループについては、BIM による情報管理の提案があり、情報管理のしやすさを評価した。 ・さくらグループとあじさいグループについては、市との密な連携体制や IT 活用等による具体的な提案を評価した。
長期修繕計画策定	・すべての応募者から、妥当な提案がなされていた。

【運営】

審査項目	講　評
運営体制	・さくらグループについては、調理員の配置に関して最も充実した提案であった。 ・ふじグループについては、職員数は多いが正職員数が少ないことに関して懸念する意見があった。 ・あじさいグループについては、実績を基に現実的な運営体制が提案されており評価された。
調理業務	・すべての応募者から、適切な提案がなされていた。 ・さくらグループについては、カット野菜を用いない提案が評価された。 ・ふじグループ及びあじさいグループについては、事故防止に関して、具体的な提案がある点が評価された。 ・あじさいグループについては、アレルギー専用食の専任調理員が多く、また専門家による支援の提案があったため、高評価とした。 ・あじさいグループについては、HACCP 対応や細やかな調理でのリスク配慮に関する提案を評価した。
配送業務	・さくらグループ及びあじさいグループについては、配送車台数に関して２時間以内の喫食を実現する上で、適切な提案であると評価された。

その他関連業務	・それぞれのグループから、光熱水使用量のマネジメントや献立作成支援、食育支援などに関する優れた提案があり評価された。
業務従事者の人材育成	・それぞれのグループの運営企業から、人材育成に関する具体的な提案があった。 ・さくらグループ及びあじさいグループについては、職員のモチベーションにつながるものと想定されるという評価があり、特にさくらグループは丁寧な社員教育プログラムについての説明があり、高評価とした。
その他：災害時の機能維持等	・さくらグループについては、災害支援移動車両の活用に係る提案が評価された。 ・ふじグループについては、BIM の活用に係る提案が評価された。 ・ふじグループの自家発電機に係る提案内容は、想定している燃料備蓄規模が大きく、点検等にも課題があるという意見があった。 ・ふじグループとあじさいグループについては、停電時に一部調理エリアの冷蔵・冷凍庫にも電力供給する提案が高く評価された。 ・あじさいグループについては、過去の経験を踏まえた具体的かつ詳細な活動内容の提案があり、高く評価した。

２　総評

本事業は、現熊谷学校給食センターの隣接地に 13,000 食規模の「新熊谷学校給食センター」を整備し、維持管理・運営することによって、熊谷市全校同じ条件で、安全安心な学校給食の提供を目的とするものであります。審査会もこれらのことを念頭に審議を重ねてまいりました。また、提案書類の審査に当たりましては、募集要項と同時に公表した審査基準書に基づき、公正かつ客観的評価を確保すべく、各審査項目について審議を尽くし、最終的な結果を得たところです。

今回、複数の企業から関心が寄せられた中で、最終的には３グループから応募がありました。本事業に応募していただいた３グループの提案には、限られた期間の中で、各企業のノウハウや技術が盛り込まれており、提案書類作成におけるその熱意と努力に対し、心から感謝申し上げます。

さて、今回の最優秀提案者に選定されたあじさいグループの提案は、要求水準書や審査基準書を踏まえ、リスクを丁寧に分析し、敷地条件に配慮した施設整備計画や、手作り調理等の給食調理に係る具体的な提案がみられました。今後この事業を進めるにあたっては、下記の点についても一層の充実を図っていただき、本事業がより良いものとなるよう、取り組んでいただきたいと考えます。

・児童・生徒や保護者等の期待が大きい事業であることを考慮し、提案したスケジュールを遵守すること。
・各室の環境衛生・快適性について、熊谷市が国内有数の気温が高い地域であることや、地球温暖化が急速に進んでいることを踏まえ、特記すべき具体的な提案がなかったことは残念であった。今後の設計過程において、対応策を十分検討すること。
・工事実施体制組成や工程管理等を適切に行い、建設業の働き方改革を踏まえ、施工要員等の労務環境にも配慮すること。
・次期事業を見据えた事業期間終了時の取組み内容の計画に関して、DX に係る提案の熟度を向上し、取組みを具体化すること。
・提案した内容を確実に遂行すること。

他方、熊谷市におかれましても、要求水準に示した業務内容及び提案内容が確実に履行されるよう、適切にモニタリングを行うことを望みます。

本事業の事業者選定に係る審査はこれで終了となります。選定事業者には、本事業の実施に当たって、参画する全ての企業がそれぞれの役割を確実に果たし、事業期間中に生じる課題等についても、市との良好なパートナーシップの下、児童・生徒等にとって質の高い給食サービスを安定的かつ継続的に提供されるよう期待するものであります。最後に、審査会として本事業への提案審査に参加したすべての方々の協力と熱意に、改めて敬意を表し、感謝申し上げるとともに、本事業が円滑に行われ、熊谷市の学校教育の充実に大きく寄与することを願います。